



スワンププロジェクトで追跡しているコハクチョウ3羽が帰ってきました。写真はロシア北極圏で8月8日にトワが撮影した画像。トワは幼鳥メスで繁殖に参加しないため、非繁殖鳥の仲間と一緒にツンドラで夏を過ごしました。11月からセンター内にスワンププロジェクトコーナーを設置しますので、どうぞお楽しみください。

Vol.173

令和6年度11月号

体験活動紹介

地元の小学生や県内の中高大学生などを対象とした体験活動が行われました。秋空の中、赤とんぼの採集や魚の観察、カキツバタの植栽場所の造成などに取り組みました。参加者の皆さんは、伊豆沼ならではの体験活動を楽しみました。

9月21日 石巻専修大:実習



伊豆沼・内沼の自然に関する講和

定置網に入った魚の調査

9月26日 仙台二華高:野外学習



植栽区の整備作業

伊豆沼の生き物観察

10月1日 一迫小4年生:ジオ学習



ジオラマを使った伊豆沼・内沼の説明

定置網に入った魚の観察

10月9日 志波姫小3年生:ジオ学習



定置網に入った魚の観察

植物園内の池で魚すくい

KDDI (株) 東北総支社様より寄付金を頂戴しました



10月2日仙台市青葉区の事務所において、KDDI (株) 東北総支社様より当財団への寄付金30万円の贈呈式が行われました。

KDDI (株) 東北総支社の皆様には、今春バス・バスターズの活動に多数参加をいただいております。当財団で行っている外来魚駆除などの保全活動が評価され寄付にいたしました。

阿部総支社長からは「生物多様性を守る上で、伊豆沼・内沼は宮城の重要な湿地。保全に役立てほしい。」という言葉いただきました。西村理事長からは「人間と渡り鳥など動物との共存を次世代に引き継ぐため、活動を継続して参ります。」と謝辞を述べていただきました。

左写真：阿部KDDI (株) 東北総支社長様（左）と西村理事長

ハクチョウの初飛来

10月11日午前8:30に伊豆沼西部獅子ヶ鼻堤防付近の沼内にて3羽のオオハクチョウを確認しました。

今年度の初飛来となります。平年（9日）より2日遅く、昨年（8日）より3日遅い飛来です。

すでにマガンは伊豆沼・内沼において6万羽以上の飛来が確認されており、初飛来が確認されたハクチョウも徐々に沼内での個体数も増えて沼内でレンコンを採食する姿も多く見られることと思います。



右写真：初飛来した3羽のオオハクチョウ

伊豆沼・内沼生き物図鑑 ～ サクラタデ ～



サクラタデ



シロバナサクラタデ

サクラタデは湿地に生える多年草で、伊豆沼・内沼の秋を彩ります。花はヨシの陰に隠れて目立たないことが多いのですが、洪水や草刈りなどの条件が合うと、湿地一面を桜色に染め上げることもあります。

サクラタデの花ですが、実は花弁がありません。花弁のように見える物は「がく」で、開花後も散らさずに残ります。そのためサクラタデの鑑賞期間は長く、夏の終わりから紅葉の頃まで続きます。サクラタデの花が散ると、伊豆沼・内沼は本格的な冬を迎えます。

第34回 伊豆沼・内沼の自然
フォトコンテスト【開催要項】
を当財団のホームページに掲載
しました。

